

ルーフマウントTV基台

注目度急上昇中の車内エンターテインメント向上アイテム

新ニーズ『車内エンターテインメント』

近年、カー用品店における売れ筋商品として不動の地位を築く「カーナビゲーションシステム」は、単なるルート案内だけではなく「娯楽性」を車内にもたらす多様性を兼ね備え、新しいニーズを刺激する存在となっている。

たとえばDVDを再生する機能をはじめ、カラオケやゲームといったコンテンツに対応する機種も増え、着実に車内を盛り上げる“エンターテイナー”としての存在感が増している。

(社)電子技術産業協会がまとめている「民生用電子機器の国内出荷実績（平成17年1月出荷）」をみると、カーナビは22万6,000台で対前年同月比13.4%増、車載用DVDプレーヤが同61.4%増と高い伸びを示し、これら「カーAVC機器※」の国内出荷金額は同10.9%増で8ヵ月連続のプラスとなり、需要の盛んな様子がうかがえる結果となっている。

装着需要はメンテナンス工場へ？

一方「車載用カラーTV（モニター）」も、同協会の調べで出荷台数が前年に比べ高い伸びを示していた。これは、ワイド化が進む「液晶モニター」が手頃な価格帯に落ち着いた近年、1台のクルマに複数のモニターを装備するニーズが高まっている（カー用品店談）のが、少なからず関係していると思われる。

特にミニバンを所有する若い世代のファミリー層は高い関心を示すそうだ。たとえばカーナビのモニターはルート案内のために利用し、後部座席に座る子供がDVDやゲームを楽しめるように2台目のモニターを設置するわけだ。

※ Audio Visual Computing（または Communication）



穴開け加工なしで装着できる手軽さがウケている。

後席モニターをオプション設定している一部の新型車は、電源ケーブルを天井部に配置している場合があり、装着の手間を大幅に省けるという。近年、車載用モニターは純正品と市販品との価格差が開いたことから、後付けする傾向が目立ち始めている。



これに伴って車載用モニターがボルトオンで手軽に装着できる「ルーフマウントTV基台」の注目度が高まっているという。これは、モニターを天井に固定するマウントキットと化粧カバーを車種ごとに専用設計し、室内の景観や質感を損ねずに後付けできるのを特徴とし、ヒンジ付のタイプはモニターの角度調整が容易にできるうえ、未使用時に天井部へ折りたたんで収納することもできる（写真参照）。

この商品を企画・販売する企業によると、カー用品店よりもディーラーのほうが力を入れて売込んでいるという。一方のカー用品店では、取付け費の割高な印象が敬遠され、ユーザーはTV基台だけ購入し、装着を整備工場へ依頼することも少なくないそうだ。